

水素・燃料電池関係販路開拓・研究開発サポート調査業務に関する質問に対する回答

令和4年10月26日

No.	質問日	項目	質問の内容	回答
1	10月24日	仕様書5(1) ①県外の水素・燃料電池関連メーカーの抽出及び情報収集	・取得する情報の内、「企業概要」とは、どのような企業情報が最低限必要か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下を想定しております。収集する方法を今回の企画提案で提案していただきますので、収集上の課題などがありましたら企画提案で御説明ください。</li> <li>・なお、具体的な項目については、事業目的の達成に影響がない範囲で、受託者と協議することとなります。</li> </ul> ①企業名 ②設立年 ③代表者氏名 ④事業内容 ⑤資本金・売上 ⑥所在地 ⑦従業員数 ⑧特記事項
2	10月24日	仕様書5(1) ①県外の水素・燃料電池関連メーカーの抽出及び情報収集	・企業によっては、「企業概要」、「製品名」、「調達部署連絡先」すべてを収集できないことも想定されるが、これらすべての情報がそろった状態のデータを1,000社集める必要があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集する方法を今回の企画提案で提案していただきますので、収集上の課題などがありましたら企画提案で御説明ください。</li> <li>・なお、収集できない項目がある場合の扱いについては、事業目的の達成に影響がない範囲で、受託者と協議することとなります。</li> </ul>
3	10月24日	仕様書5(2) ①研究開発テーマ調査	・県内企業とは、県内に事業所がある企業も含んでいるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内に事業所がある企業も含みます。</li> <li>・受託者には、やまなしHFCクラスター参加企業のリストを共有します。</li> </ul>
4	10月24日	仕様書5(2) ①研究開発テーマ調査	・研究開発テーマの内容について、どのようなレベル感のものを求めているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業が持つポテンシャルを応用することや山梨大学の技術シーズと県内企業のポテンシャルを組み合わせることにより、県内企業に、他社にはない技術を獲得してもらうことを目的としています。5年程度先を見据えたものとし、当該研究開発の費用等も踏まえ、実施候補となる企業が県内に存在するレベルのものとしします。</li> </ul>